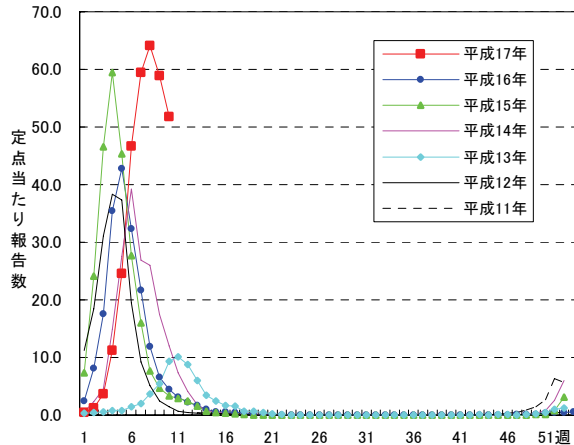


## トピックス

### ● インフルエンザ流行状況



\* 定点当たり報告数とは 1 医療機関あたりの患者数を表します。  
 週患者報告数の合計 ÷ 定点医療機関数(インフルエンザは 195)

※その他の疾病のグラフについては「グラフ総覧」(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>)をご覧ください。

第 10 週の定点当たり報告数\*は 51.8 人となり、前週(58.8 人)と比べ更に減少しました。

保健所(市)ごとの定点当たり報告数の詳細については「インフルエンザの保健所別報告数の推移」(2 ページ)をご参照下さい。

### ● 集団かぜの患者発生状況について

【平成 17 年 3 月 17 日午後 3 時現在】

	県		名古屋市		豊橋市		岡崎市		豊田市		合計	
	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数
計	5,545	3,467	3,569	2,124	431	260			552	341	10,097	6,192
前年同期	2,839	1,513	1,130	606	176	100			16	10	4,161	2,229

注1 県には名古屋市、豊橋市、岡崎市及び豊田市の患者数及び欠席者数を除く。

注2 患者数、欠席者数は、学級閉鎖等防疫措置を実施したものについて計上。

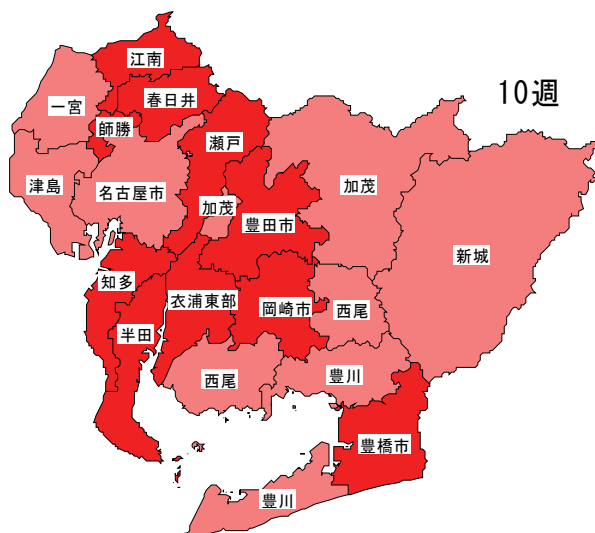
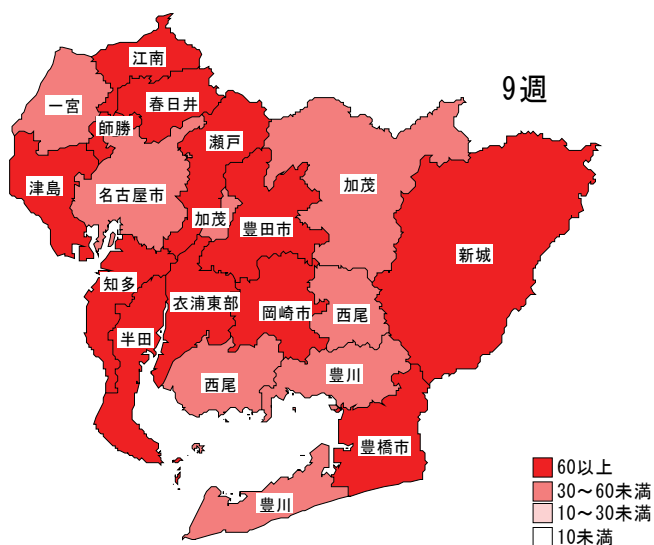
注3 欠席者数は、患者数のうち欠席した者を再掲として計上。

- ◆ 愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)
- ◆ インフルエンザ関連情報リンク ([http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/inf\\_links.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/inf_links.html))
- ◆ 愛知県のインフルエンザの流行予測について (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infyosoku.html>)
- ◆ インフルエンザウイルス分離状況 ([http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri04\\_05.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri04_05.html))

<インフルエンザから身を守るには>

- ① 過労を避け、十分な睡眠、栄養、保温に心がけて体調を整えましょう。
- ② 人混みへの外出をできるだけ避け、帰宅時には、うがい、手洗いをしましょう。
- ③ かかった時は、早めに医師の診察を受け、安静に保つことにより、肺炎などの合併症を防ぐよう心がけましょう。特に、高齢者の方は、インフルエンザの症状があまりでないが、長引くと肺炎など重症になる可能性があるため、かぜの症状がでた場合、早めに医療機関を受診することが大切です。なお、医療機関を受診する際には感染させたり感染してしまうことがないように、なるべくマスクをしましょう。

## インフルエンザの保健所別報告数の推移(名古屋市含む)



		10週	定点 当たり	9週	定点 当たり			10週	定点 当たり	9週	定点 当たり
名古屋市	○	2,100	30.0	2489	35.6	岡崎市	○	793	72.1	841	76.5
瀬戸	○	583	64.8	619	68.8	衣浦東部	○	897	81.5	1,113	101.2
津島	○	392	56.0	454	64.9	西尾	○	227	45.4	251	50.2
師勝	○	329	82.3	457	114.3	豊田市	○	516	64.5	669	83.6
一宮	○	491	30.7	661	41.3	加茂	○	106	35.3	136	45.3
春日井	○	1,023	113.7	903	100.3	豊橋市	○	813	67.8	837	69.8
江南	○	386	64.3	429	71.5	豊川	○	437	48.6	500	55.6
半田	○	410	68.3	441	73.5	新城	○	93	46.5	140	70.0
知多	○	511	73.0	535	76.4						

○ は今週警報が出ている保健所(市)です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによるインフルエンザの流行発生注意報は保健所(市) 定点当たり 10 人を越えた場合に、また、流行発生警報は 30 人を越えた場合に発生し、10 人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

## 定点の先生方からのコメント

### 尾張西部地区

- インフルエンザ 32 人と減少 A型 11 人 B型 16 人  
感染性腸炎で、点滴を要する乳幼児がやや目立ちました。  
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- 病原性大腸菌O1 2 歳女、23 歳女、25 歳女  
病原性大腸菌O25 60 歳男  
マイコプラズマ肺炎が多い。  
嘔吐するA型が目立ちます。Bは発熱がないものも多い。  
インフルエンザはA→B→Aで流行中です。  
【尾西市 城後小児科】
- インフルエンザの発生少なくなってきました。  
アデノウイルス感染症散見  
【一宮市 平谷小児科】
- 終わりになりA型の増加傾向、接種済の人も罹患するようになりました。  
【一宮市 医療法人かすがい内科】
- 犬山の西の方の小学校で、A型インフルエンザの outbreak がありました。  
2/3 以上の欠席者のあるクラスがいくつかあり、午後からの学級閉鎖で対処されているそうです（半日学級閉鎖）。  
【犬山市 武内医院】
- ロタウイルス 1 歳男、女  
【稲沢市 野村整形外科】
- A型インフルエンザ 89 名（ワクチン接種者 47 名）  
B型 53 名（うちワクチン接種者 34 名）  
ロタウイルス感染症散発  
インフルエンザA型が増えてきています。  
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 3 月に入り、A型が増加してきましたが、総数ではインフルエンザは減少しています。（A型 19 名、B型 15 名）  
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- インフルエンザA型 46 名、B型 30 名  
【師勝町 田中クリニック】
- 1 歳 3 ヶ月男、1 歳 2 ヶ月女、11 ヶ月女、1 歳 11 ヶ月女 ロタウイルス（+）  
インフルエンザは今だ続いて居ります。2 月にA型罹患、3 月にB型罹患の児も居られます。  
【春日町 丹羽医院】
- インフルエンザ 47 名中 A型 16 名、B型 31 名  
【津島市 医療法人参育会加藤医院】

### 尾張東部地区

- A型インフルエンザの方が多くなりましたが、いずれも 40%はワクチン済です。  
アデノウイルス感染も増加しています。  
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
- インフルエンザは週後半より減少傾向です。（今週は明らかにA型優位でした）  
その他、溶連菌感染症、水痘  
アデノウイルス感染症が数例みられました。（高熱に嘔吐を伴う症状で、インフルエンザとの鑑別が必要です）  
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- B型インフルエンザ 9 歳女 57 歳男  
他のインフルエンザは検査試薬不足のため型判定出来ず。  
【豊明市 豊明団地診療所】
- 同一家族内において、同一発症日でA、Bそれぞれ異なった感染のみられる例がいくつか見られます。  
【小牧市 志水こどもクリニック】
- インフルエンザB 11 件、インフルエンザA 7 件  
【半田市 医療法人林医院】
- 相変わらずインフルエンザB型が多いですが、A型も増えてきました。  
【春日井市 春日井市民病院】
- インフルエンザ 88 例。A型 52 例。B型 35 例。A+B 1 例。今週からA型がB型より多くなっています。ロタ胃腸炎続発。  
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- 半分以上インフルエンザはAでした。  
【春日井市 かがわ北病院】
- インフルエンザA、B共に流行（ややAが多い）。肺炎にて入院例あり。  
ロタ胃腸炎も多し。  
【小牧市 小牧市民病院】
- インフルエンザA型 26 人。B型 21 人。インフルエンザA、B共に多いです。  
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
- インフルエンザ A 25 件、インフルエンザ B 54 件  
突発性発疹で痙攣重積の 2 例 7 ヶ月 女 40 分間 1 歳 男 60 分間  
【美浜町 愛知県厚生連知多厚生病院】

- インフルエンザ A型 10名、B型 62名  
【南知多町 医療法人大岩医院】
- インフルエンザ A型 12名、B型 36名  
【東海市 東海市民病院】
- インフルエンザ A型が急増（39名）してきました。B型は男7名女14名です。AB混在型が1名いました。  
【大府市 まえはらこどもクリニック】

## 西三河地区

- 5ヵ月男、9ヵ月男、1歳男女、2歳男 ラ  
ピッドテストロタノアデノ（ロタ+）  
2歳女 サルモネラ腸炎O9  
5歳女、6歳男 イムノカードST Strep  
A（+）  
インフルエンザ A型 17名  
インフルエンザ B型 23名  
【豊田市 星が丘たなかこどもクリニック】
- インフルエンザ A 32名  
インフルエンザ B 31名  
【豊田市 田中小児科医院】
- インフルエンザ A型 23名、B型 35名、  
AB両者陽性 1名  
【岡崎市 医療法人深田小児科】
- インフルエンザ A型 54名、B型 35名  
とA型優位に変わりました。  
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- インフルエンザ A型 15例、B型 4例  
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科スズキ医院】
- 10歳男 病原性大腸菌O1 VT（-）  
7歳男 病原性大腸菌O1 VT（-）  
5歳女 病原性大腸菌O126 VT（-）  
【岡崎市 にいのみ小児科】
- 6歳女 病原大腸菌O1  
2歳男 病原大腸菌O1  
11ヵ月男 病原大腸菌O1
- インフルエンザ  
A型 52（ワクチン接種者 19）  
B型 28（ワクチン接種者 9）  
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- インフルエンザ A型 33名、B型 29名  
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
- インフルエンザ全63例 A型 18例、B型  
42例  
週の後半から発生率が減ってきた印象で  
す。  
【岡崎市 栗屋医院】
- インフルエンザ  
A型 22人（ワクチン接種済 8人）  
B型 19人（ワクチン接種済 5人）  
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
- 先週より減少しましたがA型の比率が  
70%でした。  
【岡崎市 村山医院】
- インフルエンザいますがピークは過ぎた  
印象です。  
【碧南市 永井小児クリニック】
- Flu A14、B11  
ロタ腸炎 3、水痘 5  
【刈谷市 田和小児科医院】
- インフルエンザ総検体数 445 A107、B  
80、陽性率 42.0%。  
【安城市 愛知県厚生連安城更生病院】
- インフルエンザ 99名。A型は増えました。  
アデノ陽性 2名  
【知立市 宮谷クリニック】
- インフルエンザが流行中です。B型が主流  
です。  
【三好町 三好町民病院】
- 病原性大腸菌O1 VT（-）  
インフルエンザ A型 5名、B型 10名  
【西尾市 やすい小児科】
- インフルエンザ 82名  
A型増加、30・40代急増  
【西尾市 山岸クリニック】
- 9歳男 サルモネラO9  
【幸田町 とみた小児科】

## 東三河地区

- A型 26人（ワクチン済み 4人）、B型 60人（ワ  
クチン済み 10人）とまだ流行している。  
39歳男 2月21日インフルエンザBで、  
3月12日インフルエンザAを認めた。  
【豊橋市 医療法人山本内科】
- A 24名、B 19名  
【豊橋市 おだかの医院】
- インフルエンザはA型 19名、B型 112名  
の計 131名でした。  
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
- 5歳女 A型、B型ともに陽性のインフルエ  
ンザあり。  
A型インフルエンザ増加  
【蒲郡市 蒲郡市民病院】
- インフルエンザやや減少、A型多い。  
川崎病 4名入院  
ロタ腸炎減少  
【豊川市 豊川市民病院】

一 ～ 三類感染症の発生状況

－ 愛知県(名古屋市を除く。)－

● 細菌性赤痢

<関連リンク> 二類感染症

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#2-3>)

一宮市内の施設における細菌性赤痢の患者発生状況一覧 (記者発表資料からの抜粋)

No.	患者等	診断	発病	症状	現在の症状等
1	入所者(60歳代・女)	3月7日	2月25日	発熱・下痢	入院中(糖尿病と脱水症状あり)
2	入所者(40歳代・男)	3月10日	3月8日	下痢	—
3	入所者(40歳代・男)	〃	—	—	—
4	入所者(40歳代・男)	〃	3月10日	下痢	入院中(快方に向かう)
5	入所者(30歳代・男)	〃	—	—	—
6	入所者(30歳代・男)	〃	—	—	—
7	入所者(30歳代・男)	〃	—	—	—
8	入所者(40歳代・女)	〃	—	—	—
9	入所者(40歳代・女)	〃	3月7日	下痢・発熱	入院中(快方に向かう)
10	入所者(50歳代・女)	〃	—	—	—
11	入所者(30歳代・女)	〃	—	—	—
12	入所者(30歳代・女)	〃	—	—	—
13	入所者(60歳代・女)	〃	3月8日	軟便	—
14	職員(50歳代・女)	〃	〃	発熱	—
15	職員(50歳代・女)	〃	3月4日	下痢	—
16	職員(40歳代・女)	〃	3月8日	発熱・下痢	—
17	入所者(40歳代・男)	3月11日	3月2日	下痢	—
18	入所者(50歳代・男)	〃	3月8日	下痢	—
19	入所者(30歳代・男)	〃	—	—	—
20	入所者(60歳代・女)	〃	—	—	—
21	職員(30歳代・女)	〃	—	—	—
22	入所者(30歳代・男)	3月12日	—	—	—
23	入所者(50歳代・女)	〃	—	—	—
24	入所者(40歳代・女)	〃	—	—	—
25	入所者(40歳代・女)	〃	—	—	—
26	入所者(30歳代・女)	〃	—	—	—
27	入所者(30歳代・女)	〃	—	—	—
28	入所者(40歳代・女)	3月13日	3月5日	下痢	—
29	入所者(40歳代・女)	〃	3月1日	下痢	—
30	入所者(30歳代・女)	〃	—	—	—
31	患者の家族(70歳代・男)	〃	3月4日	下痢	—
32	患者の家族(60歳代・女)	〃	—	—	—
33	患者の家族(60歳代・女)	〃	—	—	—
34	患者の家族(60歳代・女)	〃	—	—	—
35	職員の家族(10歳代・男)	〃	3月10日	発熱・下痢	—
36	施設訪問者(40歳代・男)	〃	3月10日	発熱・下痢	—

集団発生の詳しい情報はネットあいちの記者発表資料をご参照下さい。

([http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/press/webpress\\_20050313dysentery.html](http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/press/webpress_20050313dysentery.html))

- アメーバ赤痢 1 例（推定感染地域：国内、推定感染経路：不明）  
（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-1>）
- クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例（孤発性） 9 週報の再掲  
（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-5>）
- 髄膜炎菌性髄膜炎 1 例（血清型不明、3 歳）9 週報の再掲  
（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-9>）
- マラリア 1 例（熱帯熱、推定感染地域：バヌアツ）  
（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/mosquito.html#ma>）

## 愛知県感染症情報

平成 17 年 3 月 17 日

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

先日の寒さが嘘のような暖い雨の夕方、暗くなった町に沈丁花の匂いが漂って来ます。卒業式の香りです。今や「仰げば尊し我が師の恩」なんて歌わないのだ、というニュースに愕然としたりしています。いつも貴重な情報を有難うございます。2 月後半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からはインフルエンザ A、B 共に非常に多く（今までは B 型が優勢であったが A 型が増加）、ロタウイルス多発（インフル、ロタ共に重症例の入院目立つ）、水痘が増加傾向で一定数のマイコプラズマ肺炎入院あり、城北病院渡辺先生からはインフルエンザ B が爆発的に増加、外来、時間外がパニック状態（たまに A 型あり）、急性胃腸炎が続いているが下痢が長引き脱水の例が多くなり、ロタ陽性例も増加し、ムンプスと水痘が小流行、RS 感染症はピークを過ぎ、インフルエンザ後の細菌感染で入院例チラホラ、第二日赤岩佐先生からはインフルエンザ B が多く入院例も目立ち、ロタウイルス腸炎の入院も多い、千種区今枝先生からはインフルエンザ時々、ヘルパンギーナと突発疹各 1 名、三菱病院入山先生からはインフルエンザ（B 型優勢）41 名と多く、10 数名が数日間入院、感染性胃腸炎 13 名で 3 名入院（カンピロ、病原性大腸菌 O1、O18、O25、O26）、ロタウイルス腸炎 3 名（2 名入院）、マイコを含む肺炎で 5-6 人入院、中京病院柴田先生からはインフルエンザ B が著増、水痘とムンプスが散発、ロタウイルス腸炎の入院増加、とのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からは A 群溶連菌咽頭炎、感染性胃腸炎がそれぞれ散発中（1 歳女サルモネラとカンピロの重複感染 1 例）で、インフルエンザ B が多発中でインフルエンザ A 型が次第に増加、4 歳女のインフルエンザ B と水痘の重複感染あり、津島市民病院沼田先生からインフルエンザ A、B、ロタウイルス感染症、ムンプスが目立つ、昭和病院小児科からはインフルエンザは A も B もあり入院例目立ち、アデノウイルス感染症の入院目立つ、【常滑市 常滑市民病院】上田先生からはインフルエンザ感染症（入院多い）が目立ち、溶連菌感染症、感染性胃腸炎（ロタウイルスを含む、入院目立つ）、マイコプラズマ肺炎の入院、単純ヘルペス感染症の入院、突発疹の入院が目立つとのお手紙でした。

3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からはインフルエンザA、Bとロタウイルスが増加して入院も目立ち、インフルエンザ陰性のウイルス感染症の入院も多い、加茂病院梶田先生からはインフルエンザA、Bが非常に増加（A<B、ワクチンを接種していても発病している例が多く、タミフルの効かないB型が多い）、ロタを含む感染性胃腸炎多く入院例が目立ち、RSウイルス感染症の入院例少数、刈谷市田和先生からはインフルエンザの流行が続きB型が殆どだが最近ではAも増え、ロタウイルス腸炎も目立ち、他にアデノ（+）の扁桃炎、水痘、ムンプスが散見、碧南市永井先生からはインフルエンザ流行中でBが主体でAも増加傾向、ロタウイルス感染症もあり、豊橋市からはインフルエンザA又はBが目立ち、ロタウイルス感染症を含む感染性胃腸炎、ウイルス性気管支炎が目立つ（市内長屋先生、宮澤先生）とのお手紙でした。有難うございました。

## WHO疫学週報抜粋抄訳

平成 17 年 3 月 17 日

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

2005 年 2 月 18 日（80 巻 7 号）<http://www.who.int/wer/2005/wer8007/en/>

☆ デング出血熱（DHF）東チモール：東チモールからWHOに届出。05年2月15日時点で215例入院（死亡20）。215例中166例はWHO臨床診断基準でDHF、他はデング熱。80%は首都のディリで発病。日本・感染研の昆虫学専門家、疫学専門家が地球規模緊急ネットワークの専門家として派遣され協力開始。同国政府、WHOは医療関係者、国立病院関係者を対象にセミナー実施。

☆ 髄膜炎菌感染症。スーダン：05年2月7日時点でスーダン保健省から250例（死亡19）報告。青ナイル州、首都ハルツーム等で発生。細菌検査結果はA群髄膜炎菌陽性。同国保健省はワクチン緊急接種と監視調査実施中。

☆ 人トリパノゾーマ症（注。人トリパノゾーマ症：昆虫によって媒介され、人以外にも家畜、野生動物に広く分布する原虫感染症。代表的な疾患にはツェツェ蠅が媒介して慢性に経過、致死的な中枢神経疾患・睡眠病をおこすアフリカトリパノゾーマ症とサシガメが媒介して急性、さらに慢性の心筋、消化器、肝臓などに長期の病変をおこす南米に分布する「シャーガス病」トリパノゾーマ症がある）。インドから新しいタイプの人トリパノゾーマ症発見の報告。40歳男性。農夫で家畜との接触あり。南部マハラシュトラ州居住。04年10月26日発病。反復する発熱と知覚障害で国立病院入院、WHOは精査のためフランス・モンペリエの研究所から専門家派遣、末梢血塗抹標本でトリパノゾーマ陽性。05年1月、カルコタ（カルカッタ）で突然死の例からも同じトリパノゾーマ陽性。マハラシュトラ州保健省はWHOの協力で新しい患者の発見と感染リスク群の調査を開始。

☆ 狂犬病。世界の情報網「ラブネット」：世界各国からのWHOへの狂犬病届出は1959年に始まり90年代末には人と動物の狂犬病発病報告ネットワークが機能するようになり、インターネット「ラブネット」でオンライン化されている。①人の狂犬病の発生数、②人の狂犬病死亡数と咬傷数、③動物の狂犬病発生数と動物種類（イヌ、コウモリ、他の家畜と野生動物）、④狂犬病ワクチンの種類と製造数、輸入数、⑤ワクチン接種数（人、イヌ）。

ラブネット番号は<http://www.who.int/rabnet>まで。

☆ 2月11-17日届出。コレラ：カメルーン、コンゴ、タンザニア。

☆ ペスト。コンゴ共和国：05年2月15日時点でWHOに肺ペストによる死亡61例の報告あり。同国北部の東部州イツーリ県。全体の例数不明。予備的な細菌迅速検査結果は肺ペスト陽性で臨床像も一致。40検体について首都キンサシャの研究所で検査中。患者はゾビア地区のダイヤモンド鉱山労働者で同鉱山の労働者は約7,000名、閉山していたが04年12月16日再開、初発例12月20日発病。WHOの専門家チームが活動を開始。WHOのペスト説明書(fact sheet)は<http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs267/en/>を参照。

☆ 麻疹、風疹、先天性風疹症候群の根絶。ヨーロッパ地域：WHOのヨーロッパ地域は、52カ国、人口約8億7600万人(注：ヨーロッパ地域には西欧、東欧から東シベリアを含むロシア、中央アジア諸国など広範囲である)であり、1998年にWHOヨーロッパ地域委員会が1988年、さらに2002年に麻疹、風疹、先天性風疹症候群の根絶計画を発表した。目標としては、①2007年に麻疹・風疹の流行を根絶、②2010年には先天性風疹症候群の出生を10万出生当たり1未満とする、と設定。作戦として(1)麻疹を含むワクチン定期接種2回法の接種率向上と維持、(2)麻疹感受性者対策として基礎免疫終了後、追加接種の機会を準備する、(3)風疹感受性者のためにMR混合ワクチン追加接種、(4)女性の風疹ワクチン接種の確認、(5)サーベイランス事業の強化、(6)保健担当者や住民を対象とした教育、情報提供の強化、である。本報はヨーロッパ地区の概況紹介である。①2004年、ヨーロッパ地区52カ国全部が初回接種を生後12-23ヵ月で開始して2回法で実施。47カ国が麻疹を含むワクチン接種、45カ国がMMR、MRと麻疹単独が各1カ国となっている。②麻疹、風疹の発生とワクチン接種率(グラフあり)：2003年にはヨーロッパ全体で麻疹ワクチン接種率は90%以上で麻疹発生数は人口10万当たり5前後と低下、風疹については現在も数年おきに流行があり、ワクチン接種率も麻疹ワクチンよりは低くなっている(国別麻疹ワクチン初回接種率の地図あり)。まとめとしては確実に麻疹風疹対策は進捗しているが2007年、先天性風疹については2010年の目標達成にはさらなる努力が必要と思われる。

☆ インフルエンザ。05-06流行年のワクチン推奨株：①A/ニューカレドニア/20/99(H1N1)株類似ウイルス+②A/カリフォルニア/7/2004(H3N2)株類似ウイルス+③B/上海/361/2002類似ウイルス。

☆ 2月18日-24日届出。コレラ：カメルーン、ジンバブエ。







愛知県感染症情報

2005年第1週～第10週(平成17年1月3日～平成17年3月13日)(累計)

愛知県衛生研究所

		定点数																										
愛知県		インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹	RSウイルス感染症*	鳥インフルエンザ(高病原性を除く。)	インフルエンザ(高病原性を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
愛知県(名古屋市を含む)		195	182	35	51	13	109	62,798	330	1,939	13,846	2,782	206	231	961	9	8	40	6	1,767	1	243	0	0	67	0	0	
総数(名古屋市は除く)		125	112	24	37	12	91	49,638	251	1,361	9,850	2,166	167	179	740	9	3	24	4	1,344	1	196	0	0	67	0	0	
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1	18	13,160	79	578	3,996	616	39	52	221		5	16	2	423		47						
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	14	3,165	71	129	434	117	1	20	43		2	3		32		5				22		
海部	津島	7	7	2	2	1		2,766		53	843	92	4	12	31					156		7				2		
尾張中部	師勝	4	4	1	1			1,724		32	329	88		5	11					4		8						
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1		3,577	11	78	753	166	15	7	56					88	1	7						
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	15	5,011	69	82	697	179	6	12	75	1	1	7	1	83		18						
	江南	6	6	1	2		3	2,082	25	150	644	104	20	1	76				1	1	135		14					
知多半島	半田	6	6	1	2	1	5	2,155	14	37	492	180	23	19	24				1		118		5			1		
	知多	7	7	2	2		7	3,007	11	256	607	105	2	8	68				1		132		2					
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1	3	4,964	2	85	265	141	30	8	91	1		1		161		4						
	衣浦東部	11	11	2	4	1	5	6,600	4	86	638	262	13	42	65				1		144		45			1		
	西尾	5	5	1	2	1	11	1,563	6	56	335	110	20	7	31			3		34		16						
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	7	3,351	4	127	2,006	218	16	8	70	6		1		125		37				24		
	加茂	3	3		1			821	6	16	222	66	5	3	11					5								
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1	1	5,452	26	88	837	113	4	8	55			3		28		24				17		
	豊川	9	8	1	2	1	20	2,874	2	85	720	210	7	19	32	1		2	2	94		4						
東三河北部	新城	2	2			1		526		1	28	15	1		1					5								

\* 名古屋市(8週および9週)の累計に誤りがありましたので訂正致します

